



# 前小だより

ひたちなか市立前渡小学校  
令和6年度学校だよりNo.2  
令和6年5月10日(金)

# 今を変えれば未来が変わる

## 新緑の季節を迎え

新年度がスタートして早いもので1ヶ月が過ぎました。ゴールデンウィークも終わり、いよいよ25日(土)の運動会に向けての練習が本格的に始まります。暑い中での練習になりますので水筒や着替えの準備をお願いいたします。

さて、新緑の季節を迎えました。この爽やかな気候の中で、心も体も充実させていって欲しいと思います。心を充実させるために、児童には読書を薦めております。本校では、読み聞かせボランティアの方による朝の読み聞かせ活動や、図書館司書の先生と一緒に図書室の環境整備あたってください、図書ボランティアの活動が行われています。たいへんありがたいことです。私が小学生の頃、担任の先生から「本を読めばたいのことは分かる。」という話がありました。時代は大きく変わり、タブレットやスマートフォンで簡単に調べものができる時代になりましたが、それでも本から学ぶことは少なくありません。ぜひ、学校の図書室はもちろん、市内の公共図書館にも足を運んで欲しいと思います。

また、体の充実では、健康診断の結果についてもご家庭で話題にいただければと思います。もし、治療や検査の必要があるときには早めの受診をお願いいたします。養護教諭や栄養教諭より、「保健だより」「食育だより」を発信させていただいております。ぜひそちらにも目を通していただければと思います。

文責 校長 菊池雅明

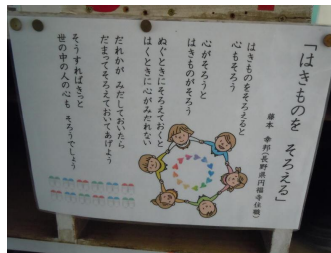
## ひたちなか市誕生30周年記念事業より



令和6年11月1日、ひたちなか市は誕生30周年を迎えます。その記念事業の一つとして、学区内にある「自慢したい景色や音」の写真や音声データの募集が行われました。校庭の七福ざくら、海浜公園のネモフィラやチューリップ等など、前渡地区には自慢したい場所がたくさんあります。今回の募集は締め切られましたが、せっかくの機会ですので保護者の皆様の中で、「ぜひこの景色は」という場所がありましたら学校まで連絡をいただければと思います。学校だよりやホームページで紹介させていただきたいと思えます。

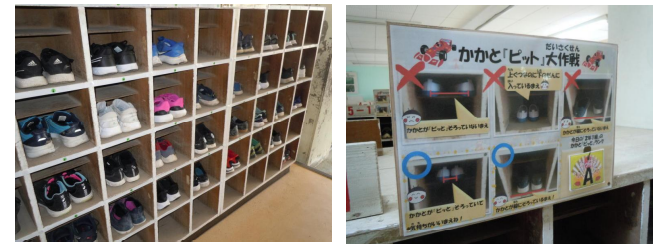
## はきものをそろえる

はきものをそろえると心もそろう  
心がそろうとはきものがそろう  
ぬぐときにそろえておくと  
はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと 世の中の人の心もそろうでしょう



この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんがつくった「はきものをそろえる」という詩です。

永平寺の開祖である道元禅師は日々の修行の中に「はきものをそろえる」という行為を組み込んでいたそうです。はきものをそろえることは、「自分自身をみつめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていたようです。本校では、この詩を昇降口に掲示して児童にその意味を伝えております。



児童の意識は高く、昇降口にはかかどがそろえられたくつが並んでおります。朝登校したときに、ちょっと意識してくつをそろえるだけで、落ち着いた1日をスタートすることができております。

